

## 理事長室から

竹屋 元裕

## 化血研が高校生の「サイエンスの扉」をひらく

文部科学省の方針もあり、高校教育における探究学習が盛んになっている。本学でも毎年12月に開催される県教育委員会主催の「学びの祭典」に協賛して、多くの先生方に高校生の指導を行っていただいている。

去る5月29日・30日に開催された化血研助成研究報告会では、特別企画として高校生×研究者ワークショップ「サイエンスの扉」が熊本城シビックホールで行われた。県内のSSH指定校である天草高校、宇土高校、第二高校、熊本北高校の4校から高校生29名が招かれ、報告会に参加した研究者の方々が直接指導するという企画である。全体セッションの「研究者リアルトーク」では、「なぜ研究者になったのか?」「研究者になって良かったと思う瞬間は?」「高校時代の自分を採点すると100点満点で何点?」といった質問が高校生から浴びせられた。若手研究者からは様々な回答があったが、高校生諸君はそれぞれ納得顔だったよう

だ。次に探究研究の進捗状況によって、「研究スタートアップ班」、「研究テーマ・仮説ブラッシュアップ班」、「研究発表ブラッシュアップ班」、「研究者キャリアトーク班」の4つに分かれてワークショップが行われた。とくに「研究発表ブラッシュアップ班」では報告会に招聘されたベテラン研究者に馬場秀夫化血研理事長も加わり、各高校生の探究研究へのマン・ツー・マンの助言が行われた。高校生諸君にとっては、生命科学のレジェンド研究者から直接指導を受けるというまたとない機会となった。先生方も、研究に興味を抱く高校生と直接触れ合うという貴重な経験を喜んでおられた。

今回が初めての企画であったが、大好評のうちに終了し、化血研の担当者によれば次年度以降も継続して実施予定だという。今回の参加者の中から、将来の生命科学研究者が生まれることを大いに期待したい。



4班に分かれてワークショップが行われた「サイエンスの扉」の会場

## 新会長に西村さん就任

## 学友会総会

2026年度の学友会総会が5月21日(木)、50周年記念館であり、新会長に西村衣純さん(リハビリテーション学科理学療法学専攻3年)を選出しました。

1015人(委任858人含む)が出席。2025年度事業報告や決算報告、新年度行事計画案、予算案などが承認されました。役員改選では、先に行った会長選挙への立候補者がなかったことが報告され、会長推薦により西村さんの会長就任が決まりました。西村新会長は「学生全員が楽し

めるような企画を考えながら、自主性を発揮し、積極的に取り組んでいきたい」と挨拶。引き続き、27人の新執行部メンバーが紹介されました。

2026年度事業計画によりますと、杏祭の開催(10月)のほか、月1回のJR西里駅清掃、七夕とクリスマスのシーズンプロジェクト、地域住民と連携する井芹川清掃などに取り組みます。

(NL編集部)



学友会新会長の西村衣純さん

## 4企画合同開催 研究活動の軌跡、成果など披露

新任教員によるお披露目講演会、昇任教授による講演会、令和7年度大学教育改革推進プログラム（学長裁量経費）成果報告会、令和7年度学内研究費（P&P）報告会の4企画が5月27日（水）、6月1日（月）の2日間、合同開催され、計11人が自身の研究内容や成果などを発表しました。

専門分野や研究テーマの異なる教員が次々と登壇し、それぞれの研究内容や今後の展望について発表しました。新任教員による研究紹介や授業づくりへの抱負、昇任教授による専門領域の深化に関する講演に加え、大学教育改革推進プログラム（学長裁量経費）や学内研究費（P&P）による研究活動の進捗状況など、多様な内容が共有されました。

両日とも質疑応答や意見交換も盛んに行われました。教員が相互に刺激し合い、より豊かな学び

と研究の環境づくりにつながる有意義な機会となりました。（NL編集部）



お披露目講演会で講演する大里教授

脊髄内にある神経細胞に着目



中川 浩  
リハビリテーション学科  
理学療法学専攻講師

適切に運動や動作を行うためには、脳内で作られた実行指令にもとづく運動だけでは困難であり、脳や脊髄のさまざまな領域で複雑に処理されています。しかし、随意運動が適切に行われる神経機構については未だ不明な点が多いです。現在は、特に脊髄に存在する神経細胞に着目して、それら神経細胞の運動、動作における機能を明らかにするとともに中枢神経損傷後の役割についても研究しています。

新任教員  
私の研究

田口 邦子  
看護学科助教



現在は、看護学生の愛着スタイルとメンタルヘルスの関連に関する研究に取り組んでおります。個人の対人関係の特徴がストレス対処や心理的適応にどのように影響するのかを明らかにし、看護教育や臨床に活かせる知見の創出を目指しております。今後も実践に還元できる研究を継続してまいります。

対人関係が与える影響探る

## 「基本理念」テーマに活発討議 スタプラ第2回



職員向け勉強会「KUMAHO Staff Learning+」（通称：スタプラ）の第2回が5月22日（金）に開催されました。今回は、河瀬晴夫事務局長がファシリテーターを務め、「熊本保健科学大学の基本的な理念等について学ぶ～理念を個別業務に繋げよう～」をテーマに、講演や個人ワーク、グループディスカッションが行われました。

会場となったキャンパステラスの学習室には、職員32人が集合。保健医療人を育成する大学の一員として、それぞれの「ベクトル合わせ」や「当事者意識の醸成」を図るとともに、本学のポリシーを改めて深く理解し、自身の業務へと結びつける大変有意義な時間となりました。（クマホの未来創造チーム）



職員32人が参加した「スタプラ」の第2回風景

# タイ・コンケン大交換研修生を歓迎

## 6人来日 パーティー後は基礎セミナーで学生交流

タイ・コンケン大学からの交換研修生を歓迎するウェルカムパーティーが6月10日（水）、1204・1205会議室であり、前日に来熊した6人の研修生が本学の教職員や期間中の世話係を務める学生たちと親交を深めました。

冒頭、研修生が一人ひとり、英語で簡単な自己紹介。青木学国際交流委員長が「（期間中）日本の文化に触れ、末永く付き合える友だちをつくってほしい。さまざまな経験を重ねながら滞在を楽しんで」とあいさつしました。出席者全員での記念撮影に続き、青木委員長の音頭で乾杯した後は、テーブルに並べられた軽食をつまみながら、談笑する学生たちの姿が会場のあちこちで見られました。

パーティー修了後、研修生たちは早速、基礎セミナーを受講。徳永郁子准教授（看護学科）のセミナーで12人の受講生と共に、ご飯と具材を海苔で包む「おにぎらず」づくりに挑戦しました。

研修生は20日（土）に帰国するまで、本学の講義を受けながら、熊本大学病院やKMバイオロジクスなどの医療機関や企業などを見学します。研修の合間には、華道、茶道、折り紙などの文化体験や観光プログラムも組まれています。

（NL編集部）



ウェルカムパーティーで記念撮影する出席者。前列右1～6人目が交換研修生。同左端が青木国際交流委員長



パーティー後、早速、基礎セミナーを体験。研修生は1年次生と共に「おにぎらず」づくりに挑戦しました

## ベッドメイキング…見た目きれいに、心地よく

### 看護学科1年次生 腕前磨く

看護学科1年次生のベッドメイキング演習が5月29日（金）、行われました。必修科目「日常生活の援助技術Ⅰ」の一環。

ベッドメイキングは看護学生が習得すべき重要な看護技術のひとつです。美しい見た目はもちろん、実際に使用する患者様が心地よさを感じられるように仕上げるのが大きなポイントとなります。学生たちは3407、3408の2つの実習室に分かれ、教員からシーツをきれいに折り込むコツなどを教わった後、グループで協力しながら演習に取り組みました。

演習の後半には、実習室ごとに最も美しく仕上がったベッドが選ばれ、「ベッドメイキング大賞」が授与されました。3～4人1組のグループに分かれた学生たちは、20分という制限時間の中で大奮闘。声を掛け合いながらシーツのしわを丁寧に伸ばしながら、マットレスの下へ入れ込み、力を合わせて一つのベッドを作り上げていきました。

投票には学生たちも参加。隣の実習室を互いに訪れ、各グループの力作を真剣な表情で見比べながら、最も素晴らしいと思うベッドに一票を投じました。実習室ごとに1位と2位が発表されると、会場からは大きな拍手が沸き起こり、選ばれたグループのメンバーからは喜びの笑顔とともに、大きな達成感がにじみ出ていました。（NL編集部）



しわ一つないベッドを仕上げ1位となり、満足そうな表情の学生たち

## ■西日本短大附高生30人が来学

福岡県八女市の西日本短期大学附属高等学校の1・2年生30人が5月28日（木）、本学を訪れ、学内施設の見学などを行いました。生徒たちは、入試・広報課職員から各学科の特色や取得可能な国家資格、就職率、スモールグループなど、本学の教育の強みについて説明を受けました。引き続き、キャンパス見学では、図書館や実習室、レストランなどを巡り、大学での学びや学生生活を具体的に思い描いている様子。「オープンキャンパスに来ます」との嬉しい声も寄せられました。

（入試・広報課）



基礎看護実習室で入試・広報課の職員から説明を受ける生徒たち

## インフォメーション

| 行事予定（6月15日～7月6日） |                     |
|------------------|---------------------|
| 6/19（金）          | 荒木特任教授紫綬褒章受章記念特別講演会 |
| 6/24（水）          | 利益相反に関する研修会         |
| 7/1（水）           | 高校進路指導者向け進学説明会      |
| 7/5（日）           | コンソ進学ガイダンスセミナー@崇城大学 |

※「NEWSLETTER331号」は7月6日（月）に配信します。